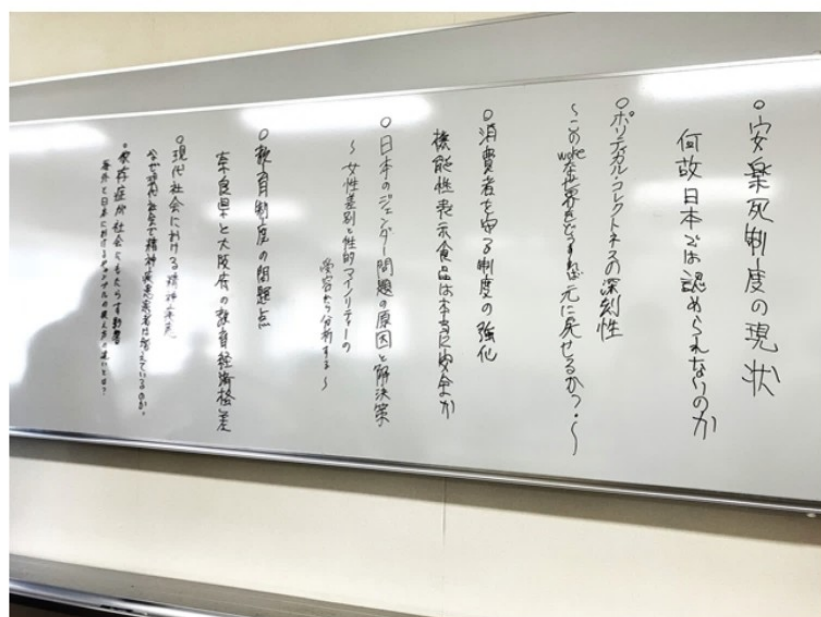


2024年5月1日(水)

今年度からの新科目「アドバンスド・ブルーフ」が始まりました。この科目は、高Ⅲ必修の文理融合型で社会課題を探究する科目です。「附属天王寺での学びや探究を通して、社会を見る目は変わったか？」が大きなテーマです。

初回は、ガイダンスのあと「人間」「イノベーション」「地球」「平和」の4分野に分かれて、生徒一人ひとりの課題認識にもとづいて3～5人の班を形成し、これから深めたいテーマ（リサーチ・クエスチョン）を設定しました。対話を通して自分たちの問いを洗練させていく班がいくつもあり、立派なテーマが並びました。

1学期は校外研修を踏まえて、調査や議論を重ね、班で課題の深刻さを根拠をもって語ることをめざし、2学期は個人で卒業論文を作成します。一人ひとりが探究心を大切に問いつづけ、自己理解の解像度が上がることを願います。



科学のもり 2024

アドバンスド・ブルーフ 活動記録用紙

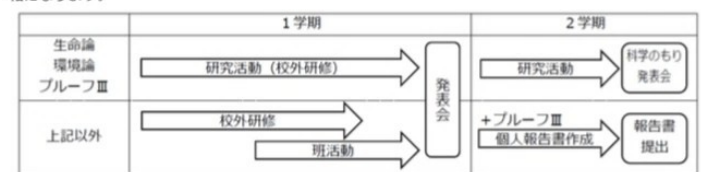
期Ⅲ年 組 番 名前

Table with columns for research fields (Human, Innovation, Earth, Peace) and rows for student information (Researcher, Teacher, etc.).

◆アドバンスド・ブルーフのめざすゴール◆
「附属天王寺での学びや探究を通して、社会を見る目は変わったか？」という問いに答えるべく、社会課題について問題の深刻さや重大さを、根拠をもって合理的に語る事ができる

文理融合 × 地域や社会

校外研修（本物に触れる経験）、班での探究と発表（協創）、個人での卒業論文作成（個に応じた学び）が軸になります。



- 活動するうえで大切なマインドセット
1 それぞれの個性や知識、特技を持ち寄って生み出される探究を楽しむ
2 毎回の活動の記録を残し、リフレクションをする
3 与えられた環境（対面での時間や活動場所）を最大限生かす

高Ⅲ「アドバンスド・プルーフ」第2回

この科目は、高Ⅲを対象とした文理融合型社会課題探究の科目です。(初回の様子は[こちら](#))

2回目の今回は、社会課題が解決しない原因を探りながら、問いを深める活動をおこないました。「人間」の分野では、グループごとに取り組む課題の深刻さを語り、互いに問いかけたり、意見交換をしたりして、それぞれの探究の方針が決まっていく様子が見られました(写真はその様子です)。

対話や議論をベースに探究を進めるというのは、本校として大事にしている部分であり、この科目の柱のひとつでもあります。互いに問うことで、そこからフィードバックを得て探究を進める姿は、さすが3年生。どんどん社会の解像度も高くなることでしょう。

